

特別委員会を設置して決算認定議案を集中審議!!

市議会では、決算審査特別委員会を設置して「予算が適正に使われているのか」「それぞれの予算を使って取り組んだ事業は期待通りの結果となっているのか」を審査します。

閉会中の継続審査として集中的に審査された決算認定議案は、12月定例会にて表決が行われる予定です。

【総務消防委員会関連】

Q 車を所有していない島民が島外から迎えに来た親族などの車に乗り、通院や買い物で島外へ出かける際に、島民が乗車していない1往復について通行料金の割引はない。問題解消のための関係機関等への働きかけは。

A これまでも本四高速への要望は行っています。高齢化の進展に伴い、新たな課題になっていると考えているので、今後も働きかけを続けていきます。

《委員の意見》

瀬戸大橋線（路線バス）の運行も含めて、関係者と協議しながら、島民の交通の利便性向上のためのさまざまな方策を検討してほしい。

【市民建設委員会関連】

Q 自治会加入促進補助金はどういった事業が補助対象となるのか。

A 補助対象となる事業は大きく4つに分類されます。

- ①自治会に加入していない住民を対象とした、自治会の活動内容、地域の魅力等の発信事業（加入促進のチラシ作成・配布など）
- ②自治会に加入していない住民との交流・協働事業（説明会・交流会の開催など）
- ③自治会が存在しない地域において、新たな自治会の設立に向けて取り組む事業（設立準備会の開催など）
- ④その他、自治会加入促進に貢献する事業（既加入者への啓発活動）

決算審査の日程

10月 1日(月)	総務消防委員会関連 (総務部・消防・水道事業含む)
10月 2日(火)	教育民生委員会関連 (健康福祉部)
10月 9日(火)	教育民生委員会関連 (教育委員会・市立病院)
10月10日(水)	市民建設委員会関連 (市民生活部)
10月15日(月)	市民建設委員会関連 (農業委員会・建設経済部)
11月12日(月)	総括・まとめ

【教育民生委員会関連】

Q 地震に限らず、さまざまな災害が各地で発生している。今後、災害用備蓄備品（救急セット・発電機・ヘッドライト等）の数量や品目を増やしていくような計画はあるのか。

A 災害時に坂出中学校と白峰中学校の2箇所を災害時救護所として設置する予定になっており、災害用備蓄備品等は、その救護所を開設するにあたり、最初に持っていくものとして、医師会の意見を参考に危機監理室とも相談し、数量や品目の追加等を決めています。災害時に使用すると不足していくますが、それは県等から追加で供給されることになっています。市の防災倉庫で保管できない、例えば注射液のようなものは、県が県内の医療機関に保管してもらっています。

将来的な課題として、現在は、高屋町の防災倉庫に備蓄しているため、白峰中学校には近いのですが、今後は坂出中学校にも妥当な保管場所を検討していかなければならぬと考えています。

【教育民生委員会関連】

Q 小児生活習慣病予防健診（血液検査）は、小学4年生を対象に実施しているが、今後、中学生などに再度検査する考えは。

A 小学4年生の検査結果を踏まえた上で、再度中学2年生の時と、成人になる頃の合計3回実施することで成果が見られるとの意見もあるので、中学生時期の検査実施に向け、今後も協議を重ねていきたいと考えています。



委員構成

【委員長】	前川 昌也
【副委員長】	植原 泰
【委 員】	東原 章 鳥飼 年幸
	出田 泰三 茨 智仁
	若杉 輝久 吉田 耕一

